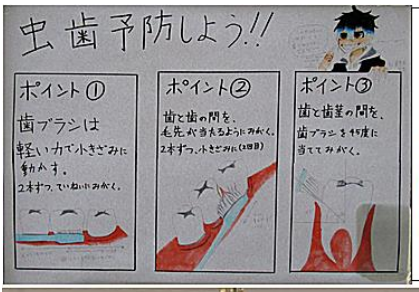
季節の掲示物や展示物が工夫されて充実しています。

令和３年３月５日（木）　篠原校長

日常的に視界に入るように、意図的に言語環境を整えることはとても大切です。例えば、花びんや花だんの花の名前を記載する、水槽の魚の名前を記載する、展示物（掲示物）の説明を記載する等です。その際に、実態に応じて、絵図、ひらがな、カタカナ、漢字、英語、ローマ字等を選択して表記すると効果的です。

言語学習を重視してコミュニケーション力を向上させることは、本校の重点目標にも挙げられているので、日常的に表記言語が視界に入るように工夫をして、生活や遊びの中で言語を増やしながら学習を促す言語環境づくりは、とても重要です。

学習の記録を掲示したり作品を展示したりして、**披露**して、周りから**賞賛**される経験は、とても貴重です。作品の**説明**や、作者の作品への**思い**、**先生のコメント**等が添えられていると、とても素晴らしい「先生と子供の**共同作品**」になりますね。花丸や「頑張ったシール（スタンプ）」等も、もらうと嬉しいものです。



委員会活動のポスターも完成度の高い作品が掲示されています。イラストの得意な委員長の作品です。委員会活動等は、思いがけない才能発掘の場になりますね。素晴らしい作品の出来映えを皆で褒めてあげましょう。

日常的な英語学習

幼稚部年中のくま組は、カレンダーの様式を同じにしています。「きのう、きょう、あした」や「こんしゅう、らいしゅう」を常に意識させようと、掲示物を工夫しています。

冬の季節や正月をテーマにして、多色刷り版画の作品を仕上げています。見事な色合いの出来映えです。